



# FileMaker®

インストールおよび新機能ガイド

FileMaker Pro 13 および FileMaker Pro 13 Advanced

© 2007-2013 FileMaker, Inc. All rights reserved.

FileMaker, Inc.

5201 Patrick Henry Drive

Santa Clara, California 95054

FileMaker、ファイルメーカー及び Bento は、FileMaker, Inc. の米国及びその他の国における登録商標です。ファイルフォルダロゴ、WebDirect 及び Bento ロゴは、FileMaker, Inc. の商標です。その他のすべての商標は該当する所有者の財産です。

FileMaker のドキュメンテーションは著作権により保護されています。FileMaker, Inc. からの書面による許可無しに、このドキュメンテーションを複製したり、頒布することはできません。このドキュメンテーションは、正当にライセンスされた FileMaker ソフトウェアのコピーがある場合、そのコピーと共にのみ使用できます。

製品及びサンプルファイル等に登場する人物、企業、E メールアドレス、URL などのデータは全て架空のもので、実在する人物、企業、E メールアドレス、URL とは一切関係ありません。スタッフはこのソフトウェアに付属する「Acknowledgements」ドキュメントに記載されます。他社の製品及び URL に関する記述は、情報の提供を目的としたもので、保証、推奨するものではありません。FileMaker, Inc. は、これらの製品の性能について一切の責任を負いません。

詳細情報については [www.filemaker.co.jp](http://www.filemaker.co.jp) をご覧ください。

第 01 版

# 目次

## 第 1 章

### インストールを始める前に

FileMaker のドキュメントについて	5
カスタマサポートとナレッジベース	6
サポートへのお問い合わせ	6
更新の通知	7
新しいバージョンの通知	7
ライセンスキーについて	8
機能を使用するための条件 (Windows)	9
機能を使用するための条件 (OS X)	10
Windows でサポートされていない機能	10
OS X でサポートされていない機能	10
評価版から製品版の FileMaker Pro への変換	11
FileMaker Pro の旧バージョンからのアップグレード	11
旧バージョンのファイルの開き方	12
ユーザ辞書の更新	12
ボリュームライセンスでのインストール	12

## 第 2 章

### Windows での FileMaker Pro のインストール

インストール参考事項	13
デフォルトのインストール場所	14
FileMaker Pro のインストール	14
FileMaker Pro の登録	16
コマンドラインからの FileMaker Pro のインストール	16
Bonjour のインストールについて	17
Microsoft .NET Framework のインストールについて	18
ハードディスク上でのファイルの保存場所	18
FileMaker Pro の削除、変更、または修復	19
FileMaker Pro のキャッシュサイズの変更	19

## 第3章

### OS X での FileMaker Pro のインストール

インストール参考事項	21
デフォルトのインストール場所	22
FileMaker Pro のインストール	22
FileMaker Pro の登録	23
インストールログファイルの表示	23
FileMaker Pro 13 のアンインストール	24
FileMaker Pro のキャッシュサイズの調整	24

## 第4章

### 新機能

新しいレイアウトスタイルとテーマの保存	27
レイアウト作成機能の改善	27
レイアウトデザインツールおよびコントロールの改善	27
共有と共同作業	29
他のアプリケーションやデータソースとの統合	29
パフォーマンスおよび使いやすさの改善	30
スクリプトステップ、スクリプトトリガ、および関数	31
スクリプトステップ	31
スクリプトトリガ	32
関数	33
変更および取り除かれた機能	34
FileMaker Pro 13 Advanced	35

## 第5章

### この後の作業を開始するにあたって

37

# 第 1 章

## インストールを始める前に

このたびは FileMaker® ソフトウェアをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。FileMaker Pro は情報を簡単、効果的に管理できるように設計されています。

### FileMaker のドキュメントについて

この『インストールおよび新機能ガイド』では、FileMaker Pro 13 または FileMaker Pro 13 Advanced を Windows または Mac コンピュータにインストールする方法とソフトウェアの新機能を説明しています。

**メモ** このガイドでは、FileMaker Pro Advanced の特定の機能を説明する場合以外は、「FileMaker Pro」を、FileMaker Pro と FileMaker Pro Advanced の両方を指すものとして使用しています。

『FileMaker Pro ユーザーズガイド』では、すぐに効率的な作業に取りかかるために必要な情報が記載されています。インタラクティブな FileMaker Pro 「始めましょう」 ツアーを体験して、主要な機能を試してみてください。あらゆる情報を網羅した手順ごとの操作と詳細については、FileMaker Pro ヘルプを参照してください。

『FileMaker Pro Advanced 機能ガイド』では、FileMaker Pro Advanced で利用可能なメニューのカスタマイズ、テーブルのコピーとインポート、データベースデザインレポート、データビューアを使用したフィールド、変数、式の監視など、追加機能が説明されています。

**メモ** ある機能または手順が特定のプラットフォームを対象としている場合は、説明および図もそのプラットフォームに固有の内容です。両方のプラットフォームに共通する機能や手順については、Windows または OS X のいずれかの図が表示されます。

FileMaker に関するドキュメントをダウンロードして参照するには、<http://www.filemaker.co.jp/documentation> をご覧ください。

## カスタマサポートとナレッジベース

[ヘルプ]メニュー>[リソースセンター]を選択して次のリソースにアクセスします。

- 既成のソリューション
- 説明ビデオとチュートリアル
- ユーザ導入事例
- フォーラムおよびその他のサポートオプション

FileMaker ナレッジベースにアクセスするには、<http://filemaker-jp.custhelp.com> を参照してください。

システム必要条件を確認するには、<http://www.filemaker.co.jp/products> を参照してください。

**メモ** FileMaker ナレッジベースと FileMaker フォーラムの一部の情報は、すべての言語で提供されていない場合があります。

## サポートへのお問い合わせ

お客様のシステム構成がソフトウェアの最小システム条件を満たしている場合、FileMaker サポート担当者が、インストール、起動、または再インストール（データ復旧を除きます）についてサポートします。

<http://www.filemaker.com/cs> をご覧ください。

## 更新の通知

FileMaker Pro 13 は、7 日ごとにソフトウェアの更新を自動的にチェックします。インターネット接続がある場合は、更新 Web ページにアクセスしてソフトウェアの更新をダウンロードできます。[ヘルプ]メニュー > [ソフトウェア更新の確認...] を選択して、後で更新することもできます。

**メモ** この機能はソフトウェアのインストールをするものではありません。アップデートソフトウェアへのアクセスとダウンロードには、インターネット接続が必要です。

更新の通知を無効にするには、次のいずれかの操作を行います。

- [更新の通知] ダイアログボックスで、[更新を自動チェックしない] を選択します。
- Windows の場合は、[編集] メニューから [環境設定...] を選択します。OS X の場合は、[FileMaker Pro] メニューから [環境設定...] を選択します。[一般] タブで、[更新が利用できる場合は通知する] オプションの選択を解除します。更新の通知を再び有効にするには、この設定を選択します。

更新の通知を無効にすると、[更新の通知] ダイアログボックスは表示されません。

## 新しいバージョンの通知

FileMaker Pro 13 は、30 日ごとに新しいソフトウェアのバージョンを自動的にチェックし、購入できる新しいバージョンがある場合はユーザに通知します。

新しいバージョンの通知を無効にするには、次のいずれかの操作を行います。

- [新しいバージョンの通知] ダイアログボックスで、[新しいバージョンについて通知しない] を選択します。

- Windows の場合は、[編集]メニューから[環境設定...]を選択します。OS X の場合は、[FileMaker Pro]メニューから[環境設定...]を選択します。[一般]タブで、[新しいバージョンが利用できる場合は通知する]オプションの選択を解除します。新しいバージョンの通知を再び有効にするには、この設定を選択します。

新しいバージョンの通知を無効にすると、[新しいバージョンの通知]ダイアログボックスは表示されません。

### ライセンスキーについて

FileMaker ソフトウェアには、35 桁の英数字の固有のライセンスキーが付属します。ライセンスキーを、紛失しないようにご注意ください。ライセンスキーは、ソフトウェアの再インストールが必要な場合に備えて安全な場所に保管することをお勧めします。

ライセンスキーは、DVD ケースの裏にあります。電子ダウンロードを使用してソフトウェアをインストールする場合は、注文確認メールの指示に従ってください。ソフトウェアをインストールするには、有効なライセンスキーを入力する必要があります。

ライセンスキーは、一度に 1 台のコンピュータで本ソフトウェアのコピー 1 部の使用が許諾されるエンドユーザライセンスアグリーメントに従うために使用されます。詳細については、ソフトウェアをインストールしたアプリケーションフォルダにある FileMaker Pro または FileMaker Pro Advanced のソフトウェアライセンスを参照してください。

同一のライセンスキーを使用してインストールされたアプリケーションのコピーがネットワーク上の別のコンピュータで実行されている場合、FileMaker Pro アプリケーションに次のエラーメッセージが表示されます。「現在、最大登録者数でこの FileMaker Pro を使用しています。」

複数のコンピュータに FileMaker Pro をインストールするには、各ユーザに個別のライセンスキーを使用するか、ボリュームライセンスアグリーメントに基づいてライセンスを取得する必要があります。ユーザ 1 人に対して FileMaker Pro を 1 部ずつ購入する必要があります。



## 機能を使用するための条件 (Windows)

Windows 用の FileMaker Pro の機能を利用するには、次のソフトウェアが必要です。

機能	必要なソフトウェア
電子メールアプリケーションを使用した [メールを送信] スクリプトステップ	Windows Live Mail、Windows Mail、または Microsoft Outlook この必要条件は SMTP メールには適用されません。
電話をかける	ダイヤラまたは他の TAPI (Telephony API) 対応のソフトウェア
ODBC と JDBC 機能	FileMaker の ODBC と JDBC ドライバは、インストールディスクイメージの xDBC フォルダ、および FileMaker ナレッジベース ( <a href="http://filemaker-jp.custhelp.com">http://filemaker-jp.custhelp.com</a> ) にあります。ODBC および JDBC 機能の使用の詳細については、『FileMaker ODBC と JDBC ガイド』および FileMaker Pro ヘルプを参照してください。
QuickTime ムービーおよび画像ファイルの挿入	QuickTime 7.5 ソフトウェア ( <a href="http://www.apple.com/jp">http://www.apple.com/jp</a> から入手できます)

## 機能を使用するための条件 (OS X)

OS X 用の FileMaker Pro の機能を利用するには、次のソフトウェアが必要です。

機能	必要なソフトウェア
電子メールアプリケーションを使用した [メールを送信] スクリプトステップ	OS X Mail または Microsoft Outlook この必要条件は SMTP メールには適用されません。
ODBC と JDBC 機能	Actual Technologies が提供する ODBC Manager ( <a href="http://www.odbcmanager.net">http://www.odbcmanager.net</a> から入手できます)。これは FileMaker でサポートされていないフリーウェア製品です。 FileMaker の ODBC と JDBC ドライバは、インストールディスクイメージの xDBC フォルダ、および FileMaker ナレッジベース ( <a href="http://filemaker-jp.custhelp.com">http://filemaker-jp.custhelp.com</a> ) にあります。 ODBC および JDBC 機能の使用の詳細については、『FileMaker ODBC と JDBC ガイド』および FileMaker Pro ヘルプを参照してください。
Bento <sup>®</sup> からのファイルのインポート	Bento 4 以降のサポートされたバージョン

## Windows でサポートされていない機能

Windows 用の FileMaker Pro では、[AppleScript を実行] および [読み上げ] スクリプトステップはサポートされていません。また、Bento からのファイルのインポートはサポートされていません。

## OS X でサポートされていない機能

OS X 用の FileMaker Pro では、[電話をかける] および [DDE コマンドを送信] スクリプトステップはサポートされていません。

## 評価版から製品版の FileMaker Pro への変換

コンピュータに FileMaker Pro 13 の評価版がインストールされている場合、評価版をアンインストールすることなく製品版の FileMaker Pro 13 に変換できます。変換プロセス中にアップグレードライセンスキーと、旧バージョン用ライセンスキーを入力することによって、FileMaker Pro または FileMaker Pro Advanced バージョン 10、11、または 12 の通常製品版を製品版の FileMaker Pro 13 にアップグレードすることもできます。

## FileMaker Pro の旧バージョンからのアップグレード

FileMaker Pro を旧バージョンからアップグレードする場合、アンインストールする前に新しいバージョンへアップグレードすることをお勧めします。

FileMaker Pro の旧バージョンからのアップグレード手順

1. DVD ケースの裏にある 35 桁のライセンスキー、または送信された電子メールのダウンロードリンクを使用してアップグレード版をインストールします。
2. プラグイン、辞書の情報、および環境設定を FileMaker Pro の新しいバージョンへ移動します。環境設定の移動については、FileMaker ナレッジベース (<http://filemaker-jp.custhelp.com>) を参照してください。
3. 最新バージョンのみを使用する場合は、旧バージョンをアンインストールします。

最新バージョンへアップグレードする前に、旧バージョンのアンインストールを選択する場合、旧バージョンのライセンスキーを必ず用意してください。アップグレード用のライセンスキーで FileMaker Pro をインストールする場合、インストーラはインストールするコンピュータのハードドライブから旧バージョンを検索します。旧バージョンが見つからなかった場合は、旧バージョンのライセンスキーを入力するように求められます。

## 旧バージョンのファイルの開き方

FileMaker Pro 13 では、FileMaker Pro のバージョン 7.x、8.x、9.x、10.x、11.x または 12.x で作成されたファイルを開くことができます。しかし、これらのファイルを FileMaker Pro で使用するには、ファイルを FileMaker Pro 12 ファイル形式に変換する必要があります。ファイルの変換の詳細については、FileMaker Pro ヘルプを参照してください。

## ユーザ辞書の更新

旧バージョンの FileMaker Pro でユーザ辞書に単語を追加した場合は、FileMaker Pro 13 でもその辞書を使用することができます。ユーザ辞書の変換の詳細については、FileMaker Pro ヘルプを参照してください。

## ボリュームライセンスでのインストール

ボリュームライセンスで複数の FileMaker Pro をインストールする場合、またはサイレントインストールを行いたい場合は、処理を自動化することができます。ディスクイメージに含まれている「Assisted Install.txt」ファイルを使用して、インストールダイアログボックスをバイパスすることができます。詳細については、『FileMaker Pro ネットワークインストールセットアップガイド』を参照してください。ボリュームライセンスの詳細については、<http://www.filemaker.co.jp> を参照してください。

## 第 2 章

# Windows での FileMaker Pro のインストール

インストール作業を開始する前に、実行中のプログラムをすべて終了し、作業内容を保存してください。FileMaker Pro の最新情報およびリリースノートについては、<http://filemaker-jp.custhelp.com> を参照してください。

## インストール参考事項

FileMaker Pro をインストールする前に、次の参考事項を確認してください。

- FileMaker Pro をインストールするには、管理者権限が必要で、管理者のユーザ名ならびにパスワードを使用する必要があります。
- ご使用のコンピュータでウィルス保護ソフトウェアが実行されている場合は、FileMaker Pro をインストールする前に終了し、インストール後に再度実行してください。
- インストール中に、すべてのプログラム機能をインストールする [すべて]、またはプログラムの一部をインストールする [カスタム] を選択します。たとえば、ディスクの空き容量を確保するために、特定の機能をインストールしないこともできます。
- インストールの開始時に、FileMaker Pro インストーラの言語バージョンを選択します。デフォルトで選択される言語バージョンは、オペレーティングシステムの言語と同じです。[すべて] でインストールする場合は、選択した言語バージョンのみがインストールされます。[カスタム] を選択し、サポートされている言語の一覧から他の言語パックを選択することで、追加の言語バージョンをインストールできます。

- アップグレードインストールの実行前に、FileMaker ソフトウェアはハードドライブおよびシステムに接続しているボリュームすべてをスキャンして旧バージョンを検索します。複数のドライブまたはボリュームがある場合は、このスキャンに数分かかることがあります。
- コマンドラインの使用、およびネットワークボリュームを使用してリモートで FileMaker Pro をインストールすることもできます。『FileMaker Pro ネットワークインストールセットアップガイド』を参照してください。

## デフォルトのインストール場所

デフォルトでは、FileMaker Pro および FileMaker Pro Advanced は次のいずれかのフォルダにインストールされます。インストール中に別のドライブまたは別のフォルダを選択することができます。

FileMaker ソフトウェア	システムタイプ	デフォルトの場所
FileMaker Pro	32 ビット	C:\¥ Program Files ¥ FileMaker ¥ FileMaker Pro 13
	64 ビット	C:\¥ Program Files (x86) ¥ FileMaker ¥ FileMaker Pro 13
FileMaker Pro Advanced	32 ビット	C:\¥ Program Files ¥ FileMaker ¥ FileMaker Pro 13 Advanced
	64 ビット	C:\¥ Program Files (x86) ¥ FileMaker ¥ FileMaker Pro 13 Advanced

## FileMaker Pro のインストール

FileMaker Pro をインストールするには、インストールプログラムを使用する必要があります。ファイルをハードディスクにドラッグしても、FileMaker Pro はインストールできません。

インストールされたすべてのファイルのレジストリエントリとパスの一覧を記録したインストールログファイルを作成する場合は、FileMaker Pro をコマンドラインからインストールする必要があります。16 ページの「コマンドラインからの FileMaker Pro のインストール」を参照してください。

FileMaker Pro をハードディスクにインストールするには：

1. 次のいずれかの操作を行います。

- ソフトウェアを電子的に入手した場合は、ファイルのダウンロード後にインストーラアイコン（.exe ファイル）をダブルクリックします。



- DVD を使用して FileMaker Pro をインストールする場合は、DVD ドライブに DVD を挿入し、FileMaker DVD ウィンドウを開いてインストーラアイコンをクリックします。



クリックしてアプリケーションをインストールします



クリックすると DVD の内容を参照できます



クリックすると終了します

2. 画面の指示に従って FileMaker Pro をインストールします。  
インストールの詳細については、13 ページの「インストール参考事項」を参照してください。
3. インストールが終了したら、[完了] をクリックします。  
[ユーザ登録] ダイアログボックスが表示されます。

## FileMaker Pro の登録

ご購入いただいた製品について、テクニカルサポートやバージョンアップサービスを受けるためには、ユーザ登録を行っていただく必要があります。ソフトウェアを登録すると、ライセンスキーを紛失した場合に、FileMaker からのサポートを受けられます。また、ソフトウェアのアップデート、アップグレード、特別キャンペーンの通知も優先的に受けられます。プロンプトに従って、登録、製品、および詳細情報を入力します。

FileMaker Pro の評価版を試用している場合は、使用する前にソフトウェアを登録する必要があります。

FileMaker Pro の [ヘルプ] メニュー > [FileMaker Pro の登録] を選択して、登録することもできます。

## コマンドラインからの FileMaker Pro のインストール

コマンドラインから FileMaker Pro をインストールして、インストールログファイルを作成するには、次の操作を行います。

1. DVD を DVD ドライブに挿入します。
2. コマンドウインドウを開きます。
3. コマンドウインドウで、次のコマンドを入力します。

```
E: ¥ Files ¥ setup.exe /v"/Lr C: ¥ FMP13InstallLog.txt"
```

ここで、「E:」は、DVD ドライブを指します。DVD ドライブに別のドライブ文字を使用する場合は、その文字を「E」の代わりに入力します。

4. 画面の指示に従います。

「FMP13InstallLog.txt」ファイルがハードディスクのルートディレクトリに作成されます。このファイルは、ワードパッドまたはワードプロセッサプログラムで表示することができます。



## Bonjour のインストールについて

Bonjour のサービスを使用すると、IP ネットワーク上のコンピュータ、デバイス、およびサービスを自動で検出することができます。リモートホストを検出できるようにするには、Bonjour をインストールする必要があります。

Bonjour がインストールされていないか、またはサービスが実行中でない場合、FileMaker Pro は共有ネットワークを検出することができません。たとえば、[共有ファイルを開く] ダイアログボックス内でホストされているデータベースを表示したり、外部データソースとして使用する共有ファイルの一覧を表示できません。

Bonjour がない場合は、共有データベースの IP アドレスを手動で入力する必要があります。

FileMaker Pro のインストール中、インストーラは次の処理を行います。

- Bonjour が検出されない場合は、インストーラによって警告が表示され、Bonjour をインストールするメッセージが表示されます。
- FileMaker でサポートされていないバージョンの Bonjour のインストールが検出された場合は、インストーラによって警告が表示されます。Bonjour を手動でアンインストールし、FileMaker でサポートされているバージョンの Bonjour を手動でインストールするメッセージが表示されます。
- FileMaker でサポートされているバージョンの Bonjour のインストールが検出された場合は、インストーラによる警告は表示されず、Bonjour のインストールは行われません。

Bonjour を手動でインストールするには、次の操作を行います。

1. FileMaker Pro インストールフォルダを開きます。
2. 「Files」フォルダを開き、「Bonjour」フォルダを開きます。
3. Windows のバージョンに基づいて「32-bit」または「64-bit」フォルダを開きます。
4. Bonjour (32 ビット) または Bonjour64 (64 ビット) アイコンをダブルクリックします。
5. 画面の指示に従って Bonjour をインストールします。

## Microsoft .NET Framework のインストールについて

Microsoft .NET Framework は、多くの Windows アプリケーションに共通の機能を提供します。FileMaker Pro を実行するにはシステムに特定のバージョンの .NET をインストールする必要があります。

.NET がインストールされていない場合、FileMaker Pro の起動時にエラーメッセージが表示され、FileMaker Pro は実行されません。

FileMaker Pro のインストール中、インストーラは次の処理を行います。

- .NET の必要なバージョンが検出されない場合は、インストーラによって警告が表示され、.NET をインストールするメッセージが表示されます。.NET インストーラには必要なファイルをダウンロードするためのインターネットアクセスが必要です。この時点で .NET をインストールしないことを選択する場合、後で手動でインストールすることも可能ですが、.NET がインストールされるまで FileMaker Pro は使用できません。
- .NET の必要なバージョンが検出された場合は、インストーラによる警告は表示されず、.NET のインストールは行われません。

.NET を手動でインストールするには、次の操作を行います。

1. FileMaker Pro インストールフォルダを開きます。
2. 「Files」フォルダを開き、「DotNet」フォルダを開きます。
3. アイコンをダブルクリックします。
4. 画面の指示に従って .NET をインストールします。

## ハードディスク上でのファイルの保存場所

FileMaker Pro インストーラにより、オペレーティングシステムおよび選択したインストールオプションに応じて、ハードディスク上の複数のフォルダにファイルがコピーされます。コマンドラインインストールを実行してインストールログファイルを指定した場合は、インストールされた各ファイルの保存場所を記録したインストールログファイルを参照することができます。

## FileMaker Pro の削除、変更、または修復

FileMaker Pro のアンインストール、欠損または破損ファイルの置き換え、またはインストール機能の変更などは、Windows の [プログラムと機能] コントロールパネルを使用することができます。詳細については、[Windows ヘルプとサポート] を参照してください。

FileMaker Pro を変更または修復する場合は、ライセンスキーを入力するプロンプトが表示されます。

## FileMaker Pro のキャッシュサイズの変更

FileMaker Pro は、データベースの一部を内部キャッシュに保持します。使用しているコンピュータのメモリ設定によっては、キャッシュサイズを変更してコンピュータのパフォーマンスを向上させることができます。

次のような場合、キャッシュサイズを増加することをお勧めします。

- 作業するデータベースファイルのサイズが大きい場合
- 複数のデータベースファイルで同時に作業する場合
- ホストとしてデータベースファイルを開く場合
- データベースファイルにサイズの大きいグラフィックを挿入する場合

限られたメモリ (RAM) 量で複数のアプリケーションを同時に起動する場合は、キャッシュサイズを削減することをお勧めします。

**メモ** FileMaker Pro に割り当てるキャッシュサイズを増減させると、FileMaker Pro の実行に必要なメモリ量も増減します。

メモリ管理方法の詳細については、コンピュータに付属のドキュメントを参照してください。

FileMaker Pro で使用するキャッシュサイズを変更するには、次の操作を行います。

1. FileMaker Pro の [編集] メニューから [環境設定 ...] を選択します。  
[環境設定] ダイアログボックスが表示されます。
2. [メモリ] タブをクリックします。
3. [ファイルキャッシュの変更:] ボックスに数値を入力してから、  
[OK] をクリックします。

次回 FileMaker Pro を起動すると、指定したキャッシュサイズが使用されるようになります。

# 第3章

## OS X での FileMaker Pro のインストール

インストール作業を開始する前に、実行中のプログラムをすべて終了し、作業内容を保存してください。FileMaker Pro の最新情報およびリリースノートについては、<http://filemaker-jp.custhelp.com> を参照してください。

### インストール参考事項

FileMaker Pro をインストールする前に、次の参考事項を確認してください。

- FileMaker Pro をインストールするには、管理者権限が必要で、管理者のユーザ名ならびにパスワードを使用する必要があります。
- ご使用のコンピュータでウィルス保護ソフトウェアが実行されている場合は、FileMaker Pro をインストールする前に終了し、インストール後に再度実行してください。
- インストール中に、すべてのプログラムファイルをインストールする [標準インストール]、またはプログラムの一部をインストールする [カスタムインストール] を選択します。たとえば、ディスクの空き容量を確保するために、特定の機能をインストールしないこともできます。
- [標準インストール] を選択した場合は、オペレーティングシステムと同じ言語の FileMaker Pro がインストールされます。[カスタムインストール] を選択し、サポートされている言語の一覧から他の言語パックを選択することで、追加の言語バージョンをインストールできます。
- アップグレードインストールの実行前に、FileMaker ソフトウェアはハードドライブおよびシステムに接続しているボリュームすべてをスキャンして旧バージョンを検索します。複数のドライブまたはボリュームがある場合は、このスキャンに数分かかる場合があります。

- Apple Remote Desktop を使用すると、FileMaker Pro のリモートインストールを実行することもできます。『FileMaker Pro ネットワークインストールセットアップガイド』を参照してください。

### デフォルトのインストール場所

デフォルトでは、FileMaker Pro および FileMaker Pro Advanced は次のいずれかのフォルダにインストールされます。インストール中に別のドライブまたは別のフォルダを選択することができます。

FileMaker ソフトウェア	デフォルトの場所
FileMaker Pro	[ドライブ]/Applications/FileMaker Pro 13
FileMaker Pro Advanced	[ドライブ]/Applications/FileMaker Pro 13 Advanced

### FileMaker Pro のインストール

FileMaker Pro をインストールするには、インストールプログラムを使用する必要があります。ファイルをハードディスクにドラッグしても、FileMaker Pro はインストールできません。

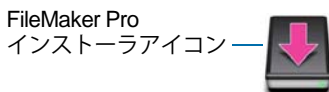
FileMaker Pro をハードディスクにインストールするには：

1. 次のいずれかの操作を行います。
  - ソフトウェアを電子的に入手した場合は、ファイルのダウンロード後にディスクイメージアイコン（.dmg ファイル）をダブルクリックします。



- DVD を使用して FileMaker をインストールする場合は、DVD ドライブに DVD を挿入し、FileMaker DVD ウィンドウを開きます。

2. FileMaker Pro のインストーラアイコンを探してダブルクリックします。



3. 画面の指示に従って FileMaker Pro をインストールします。  
インストールの詳細については、21 ページの「インストール参考事項」を参照してください。
4. インストールが完了すると、[ユーザ登録] ダイアログボックスが表示されます。

## FileMaker Pro の登録

ご購入いただいた製品について、テクニカルサポートやバージョンアップサービスを受けるためには、ユーザ登録を行っていただく必要があります。ソフトウェアを登録すると、ライセンスキーを紛失した場合に、FileMaker からのサポートを受けられます。また、ソフトウェアのアップデート、アップグレード、特別キャンペーンの通知も優先的に受けられます。プロンプトに従って、登録、製品、および詳細情報を入力します。

FileMaker Pro の評価版を試用している場合は、使用する前にソフトウェアを登録する必要があります。

FileMaker Pro の [ヘルプ] メニューから [FileMaker Pro の登録] を選択して、登録することもできます。

## インストールログファイルの表示

インストールのログファイルを表示、および保存するには、インストーラウインドウの [ウインドウ] メニュー > [インストーラログ] を選択します。エラーと進行状況の両方、またはエラーのみ、またはすべてのログを表示できます。

## FileMaker Pro 13 のアンインストール

FileMaker Pro 13 をアンインストールするには、次の操作を行います。

1. FileMaker Pro 13 または FileMaker Pro 13 Advanced フォルダとすべての内容をアプリケーションフォルダからゴミ箱にドラッグします。
2. FileMaker Pro または FileMaker Pro Advanced の環境設定ファイルをゴミ箱にドラッグします。

環境設定ファイルのパス名は、次のとおりです。

FileMaker Pro の場合：

<ホーム>/ライブラリ/Preferences/com.filemaker.client.pro13.plist

FileMaker Pro Advanced の場合：

<ホーム>/ライブラリ/Preferences/com.filemaker.client.advanced13.plist

## FileMaker Pro のキャッシュサイズの調整

OS X では必要に応じて動的にアプリケーションにメモリが割り当てられるため、FileMaker Pro アプリケーションに特定の量のメモリを割り当てるように設定することはできません。ただし、FileMaker Pro のキャッシュサイズを調整することは可能です。

次のいずれかの項目を実行する場合は、キャッシュサイズを増やすことができます。

- 作業するデータベースファイルのサイズが大きい場合
- 複数のデータベースファイルで同時に作業する場合
- ホストとしてデータベースファイルを開く場合
- データベースファイルにサイズの大きいグラフィックを挿入する場合

限られたメモリ (RAM) 量で複数のアプリケーションを同時に起動する場合は、キャッシュサイズを削減することをお勧めします。



FileMaker Pro で使用するキャッシュサイズを変更するには、次の操作を行います。

1. FileMaker Pro で [FileMaker Pro] メニューから [環境設定 ...] を選択して、[メモリ] タブをクリックします。
2. [ファイルキャッシュの変更:] ボックスに数値を入力してから、[OK] をクリックします。

次回 FileMaker Pro を起動すると、指定したキャッシュサイズが使用されるようになります。



## 第4章 新機能

この章では、FileMaker Pro 13 の新機能と改善点の概要について説明します。これらの機能の詳細については FileMaker Pro ヘルプを参照してください。

### 新しいレイアウトスタイルとテーマの保存

- 強化されたスタイルとテーマの管理オプション – レイアウトオブジェクト、パート、背景に書式スタイルを適用して、ソリューション全体に一貫性のある外観を構築できます。カスタムスタイルを定義し、テーマに保存して書式への変更を自動的に適用したり、他のファイルからテーマをインポートできます。
- 強化されたテーマと新しいテーマ – 既存の 40 テーマは代替スタイルオプションを追加できるように更新されています。アスパイア系の新しいテーマにより、さまざまなスタイルオプションが提供され、柔軟性が向上しました。

### レイアウト作成機能の改善

- 再設計された新規レイアウト/レポート – あらかじめ定義されたスクリーンサイズ、表示、およびコンピュータ、iPhone、iPad スクリーンで表示するためのテーマ、またはさまざまな形式で印刷するためのテーマなど、使用されるデバイスに最適化されたレイアウトおよびレポートを作成できます。

### レイアウトデザインツールおよびコントロールの改善

- オブジェクトの表示コントロール – レイアウトオブジェクトの表示は、特定の条件や計算に従ってオブジェクトを表示するかどうかを示すことによって制御できます。

- レイアウトモードでのフィールドの定義 – [フィールドピッカー] ダイアログボックスを使用してレイアウトモードでフィールドを定義し、フィールドをレイアウトにドラッグできます。
- スライドコントロール – 複数パネルのスライドコントロールを作成して、個別のスライドパネルにオブジェクトをグループ化できます。
- ポップオーバー – 他のレイアウトやウィンドウに移動することなく、フィールドや他のオブジェクトを操作できるポップオーバーを作成できます。
- オブジェクトタイプの選択 – インスペクタの [外観] タブのドロップダウンリストを使用して複数の要素が含まれるオブジェクト（ポータルやスライドコントロールなど）を選択してスタイルを設定できます。
- レイアウト設計機能の強化：
  - レイアウトへの変更をレイアウトに保存した後や、ブラウザモードでレイアウトをプレビューした後でも元に戻したり、やり直しできます。
  - スクリーンステンシルに iPhone 5 の 4 インチスクリーン用のサイズが含まれました。
  - [表示] メニューから [改ページ] を選択してレイアウトモードで改ページの表示と非表示を切り替えられます。
- レイアウトオブジェクトの効果の拡張：
  - 影とパディング – インスペクタの新しい [詳細なグラフィック] 領域でオブジェクトに影やパディングを適用できます。
  - 新しいオブジェクト表示状態 – リスト形式の現在のレコードの塗りつぶし、またはアクティブポータル行はアクティブ表示状態によって指定できます。リスト形式のメインおよび代替塗りつぶし、またはポータルはメインおよび代替表示状態によって指定できます。
  - テキストの基線 – インスペクタのテキスト領域（以前のグラフィック領域）でテキストの基線が編集できる新しいオプションが利用できます。
  - レイアウト背景 – フルスクリーンイメージ、色、およびグラデーションでレイアウト背景をカスタマイズできます。

- オブジェクトの移動およびサイズ変更機能の改善：
  - オブジェクトの複製とスナップ機能 – Ctrl - ドラッグ (Windows) または option - ドラッグ (OS X) でオブジェクトを複製する場合には、複製されたオブジェクトをグリッド、ガイド、またはダイナミックガイドに沿わせて位置を合わせることができます。
  - 複数のオブジェクトのサイズ変更 – 複数のオブジェクトのサイズ変更では、オブジェクトの長さや幅の違いを維持し、オブジェクトの反対側の端は同じ位置に固定されます。
  - ダイナミックガイド – ダイナミックガイドは、キーボードの矢印キーを使用してオブジェクトを移動する場合にも表示されます。

## 共有と共同作業



- FileMaker Server へのファイルのアップロード – FileMaker Pro データベースと外部に格納されたオブジェクトデータを FileMaker Server にアップロードします。
- FileMaker WebDirect™ – FileMaker WebDirect テクノロジーを使用して Web ブラウザで FileMaker Pro データベースのレイアウトにアクセスできます。FileMaker WebDirect ソリューションは FileMaker Server によってホストされます。『FileMaker WebDirect ガイド』を参照してください。

## 他のアプリケーションやデータソースとの統合

- FileMaker Go のサポートの強化 – FileMaker Pro には、FileMaker Go の使用をサポートする iPad と iPhone 用に最適化された新しいレイアウトテーマや、新しいスクリプトステップ、関数、スクリプトトリガが含まれています。
- ODBC および JDBC でのオブジェクトフィールド – ODBC または JDBC 経由でオブジェクトフィールドにファイルが挿入されると、FileMaker Pro はファイル拡張子により各ファイルの形式を認識できます。『FileMaker SQL リファレンス』を参照してください。

- SQL ステートメント – FileMaker Pro は、FETCH FIRST および OFFSET キーワードを使用した range クエリー構文に対応しています。『FileMaker SQL リファレンス』を参照してください。

## パフォーマンスおよび使いやすさの改善

- 「始めましょう」ツアー – このインタラクティブなツアーを体験して FileMaker Pro を習得できます。レコードの作成、編集、削除、データ値の検索方法やレコードのソート方法を実行し、グラフやレポートでのデータの表示、およびファイル間でデータをインポート/エクスポートする操作を習得できます。カスタムソリューションの作成のために FileMaker Pro が提供する豊富な機能についても学習できます。
- iOS デバイスのユーザビリティの改善 – FileMaker Go で2本の指でスワイプして次の、または前のレコードに移動できます。特定のタイプのキーボードを使用して値を簡単に入力できるように、テキスト、数字、日付、時刻、タイムスタンプフィールドを設定できます。
- URL からのデータのインポート – URL を指定して XML データソースからインポートする場合、[レコードのインポート]または[ファイルを変換]スクリプトステップを使用して XML データをインポートする場合、または[URL から挿入]スクリプトステップを使用してフィールドにデータを挿入する場合に HTTP POST リクエストを使用できます。
- レイアウトモードの新しいバッジ：
  - レイアウトオブジェクト上の  バッジは、バッジが表示されるオブジェクトがポップオーバーボタンであることを示します。
  - レイアウトオブジェクト上の  バッジは、[表示]メニュー > [オブジェクト] > [条件を隠す] が選択されている場合にオブジェクトを隠す計算式が指定されていることを示します。
- リスト形式の現在のレコード – リスト形式で、現在のレコードはフォルトで他のレコードとは異なる塗りつぶし色で表示されます。

- 自動テーマ更新 – FileMaker Pro では、レイアウトモードに切り替えたとき、またはレイアウトモードで異なるレイアウトに切り替えたとき、またはレイアウトのテーマを変更したときに、最新バージョンのテーマが読み込まれます。ファイル修復中、FileMaker Pro は同じ、またはより新しいバージョンのテーマを読み込みます。
- オブジェクトフィールドの機能拡張 – オブジェクトフィールドのデータ格納、ファイルメタデータ取得、およびパフォーマンスが改善されています。
- ファイルのバージョン管理 – 指定のバージョンより前のバージョンの FileMaker Pro、FileMaker Go、または FileMaker Server によってファイルが開かれるのを防止します。
- データを一覧で集計 – 複数のレコードからフィールドの値の一覧を作成する集計フィールドを使用できます。

## スクリプトステップ、スクリプトトリガ、および関数

### スクリプトステップ

#### スクリプトステップの強化

- [スクリプトの編集] ダイアログボックスの改善 – [互換性を表示] ドロップダウンリストの [デスクトップ] オプションが、[Macintosh] および [Windows] に変更され、現在使用しているオペレーティングシステムが選択されます。
- デフォルトフォルダの場所 – ホストされているソリューション上でファイルを作成するスクリプトを実行する際、パスと場所のデフォルトが「ドキュメント」フォルダに設定されます。これは [レコードを PDF として保存]、[レコードを Excel として保存]、[レコードをスナップショットリンクとして保存] および [レコードのエクスポート] スクリプトステップに影響します。
- [カスタムダイアログを表示] スクリプトステップの改善 – 計算式に基づくボタンラベルを作成できます。

- [SQL を実行] スクリプトステップの互換性 – ダイアログボックスを使用しないで実行した場合、[SQL を実行] スクリプトステップは、FileMaker Server、FileMaker WebDirect、カスタム Web 公開と互換性があります。

## 新しいスクリプトステップ

- デバイスから挿入 – FileMaker Go で、次のソースからオブジェクトフィールドに内容を入力できます。ミュージックライブラリ、フォトライブラリ、カメラ、ビデオカメラ、マイクおよび署名。バーコードソースからオブジェクトフィールドまたはテキストフィールドに内容を入力することもできます。
- テーマの管理を開く – [テーマの管理] ダイアログボックスを開いて、新しいレイアウトテーマを管理したり、既存のレイアウトテーマを編集できます。
- サーバ上のスクリプト実行 – 現在のファイルをホストしているサーバ上でスクリプトを実行します。
- オブジェクトの更新 – 指定されたオブジェクトの内容、条件付き書式の設定、表示状態を更新します。
- スクリプトアニメーション設定 – スクリプトの実行中にアニメーションを有効/無効にします。
- FileMaker Server にアップロード – [FileMaker Server にアップロード] ダイアログボックスが開きます。

## スクリプトトリガ

### 新しいスクリプトトリガ

- OnGestureTap – FileMaker Go のレイアウトがタップジェスチャを受信したときに、実行するスクリプトをトリガします。



- OnLayoutSizeChange – レイアウトまたはウィンドウのサイズが変更されたときに、次の動作の結果として実行するスクリプトをトリガします：
  - FileMaker Go の場合：iOS デバイスの回転、ステータスツールバーの表示または非表示、またはウィンドウが最初に開かれたとき。
  - FileMaker Pro および FileMaker WebDirect の場合：ユーザインタラクション、スクリプトステップ、メニューコマンド、ショートカット、スクリプトでのステータスツールバーまたは書式設定バーの表示 / 非表示によるレイアウトやウィンドウのサイズ変更、またはウィンドウが最初に開かれたとき。

## 変更されたスクリプトトリガ

- OnTabSwitch は OnPanelSwitch に変更されました。

## 関数

### 新しい関数

- Base64Decode – Base64 フォーマットでエンコードされたテキストからオブジェクト内容を返します。
- Base64Encode – 指定されたオブジェクトフィールドの内容をテキストとして返します。
- Get (接続状態) – 現在のファイルのホスト名と、接続をセキュリティ保護するために使用される SSL 証明書を発行した証明機関名を返します。
- GetContainerAttribute – 指定されたオブジェクトフィールドのファイルメタデータを返します。
- Get (現在の時刻 UTC ミリ秒) – 現在時刻を協定世界時刻 (UTC) にミリ秒単位で適合させた近似値を返します。
- Get (デバイス) – 現在 FileMaker Pro または FileMaker WebDirect を実行しているコンピュータの種類、または現在 FileMaker Go を実行している iOS デバイスの種類を示す数値を返します。

- Get (暗号化状態) – ファイルの現在の暗号化状態を表す値を返します。
- Get (ネットワークタイプ) – FileMaker Go で、現在のファイルへのアクセスに使用されているネットワークの種類を示す数値を返します。
- Get (スクリプトアニメーション状態) – 現在実行されているスクリプトでアニメーションが有効化されているかどうかを示す数字を返します。
- Get (トリガジェスチャ情報) – FileMaker Go で、OnGestureTap トリガを起動するジェスチャの詳細を返します。
- Get (ウインドウ方向) – スクリプトが実行されているウインドウ (一番手前のウインドウではない場合もあります) の向きを返します。

### 変更された関数

- GetLayoutObjectAttribute(): isFrontTabPanel は isFrontPanel に変更されました。isObjectHidden はオブジェクト名がレコード内で非表示の場合に 1 (真) を返します。
- Get (トリガ現在のタブパネル) 関数は Get (トリガ現在のパネル) に変更されました。
- Get (トリガターゲットタブパネル) 関数は Get (トリガターゲットパネル) に変更されました。

## 変更および取り除かれた機能

- キャッシュサイズの拡大 – デフォルトキャッシュサイズを 128 MB に拡大しました。
- インスタント Web 公開 – FileMaker Pro では、以前のようなインスタント Web 公開でのデータベースファイルのホスティングはできません。FileMaker Server が必要な FileMaker WebDirect またはカスタム Web 公開を使用してください。

- オブジェクトフィールドへのサウンドの挿入のサポート – オブジェクトフィールドへのサウンド録音をサポートするメニューコマンドは、FileMaker Pro から取り除かれました。(オーディオ/ビデオの挿入と QuickTime ファイルのサポートは継続されています。)
- Excel の .xls 形式でのレコードのエクスポートと保存 – FileMaker Pro では Excel 95-2004 ワークブック (.xls) 形式によるレコードのエクスポートと保存機能がサポートされなくなりました。

## FileMaker Pro 13 Advanced

- データベースの暗号化機能 – ファイルがディスクに保管されている間、不正なアクセスから守るためにデータベースファイルを暗号化できます。すべてのデータベースクライアントは、暗号化されたデータベースファイルを開く際に暗号化パスワードの入力が必要になります。



# 第 5 章

## この後の作業を開始するにあたって

FileMaker Pro のインストール終了後、アプリケーションで直ちに作業を開始することができます。実際の作業に取りかかる前に以下を参考にしてください。

- データベースを初めてご使用になる方は、『FileMaker Pro ユーザーズガイド』の第 2 章「データベースの使用」および第 3 章「データベースの作成」をお読みください。ここではデータベースの基本概念が説明されています。
- FileMaker Pro を初めて使用する、または FileMaker Pro 13 の新機能の動作を確認する場合は、[ヘルプ]メニューから [製品マニュアル] を選択して、FileMaker Pro 「始めましょう」ツアーを体験してください。詳細については、ヘルプを参照してください。
- FileMaker Pro の使用経験がある方は、このガイドの第 4 章「新機能」をお読みください。FileMaker Pro 13 で利用できる新しい機能の概要が紹介されています。
- FileMaker Pro Advanced をすでに利用しているユーザは、『FileMaker Pro Advanced 機能ガイド』および [ヘルプ] を参照してください。

